文教厚生委員会資料

教 育 委 員 会 令和4年10月28日

報告事項

- (1) 令和 4 年度松江市内全日制公立高校入学生及び保護者の進路選択に係る意識調査 結果概要について …P1
- (2) 令和3年度生徒指導上の諸課題に関する状況について … P18

令和4年度松江市内全日制公立高校入学生及び保護者の進路選択に 係る意識調査結果概要について

1 調査目的

- ・ 松江市内県立高校普通科の通学区を撤廃した市内全日制公立高校入学生の進路選択に 係る実態把握を行うこと。
- ・ 上記の実態把握を行い、今後の施策の検討に資すること。

2 実施期間と調査対象

実施期間:令和4年6月1日~6月30日

・ 調査対象: 令和4年度松江市内全日制公立高校入学生 1,366名及びその保護者

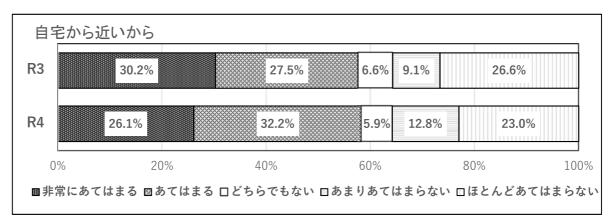
・ 実施方法:しまね電子申請サービスでの実施

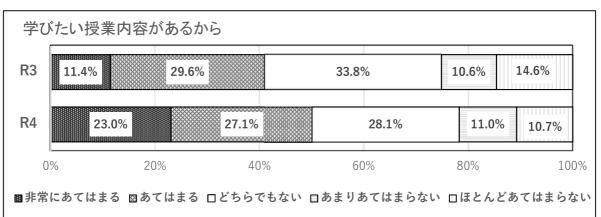
回答数:生徒585 [回収率:42.8%] 保護者579 [回収率:42.4%]

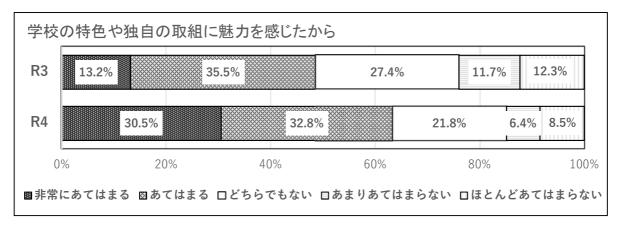
3 生徒による主な回答結果(県立普通科3校)※県立普通科3校の回収率:53.9%

- 注) 1 以下のグラフにおける数値(%)は、内訳ごとに端数を四捨五入しているため、必ずしも合計が 100%とはならない。
 - 2 各質問の未回答者は母数に含んでいない(したがって、質問ごとに母数が異なる)。

(1) 現在通っている高校を選択した理由

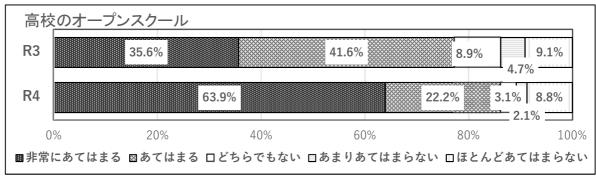


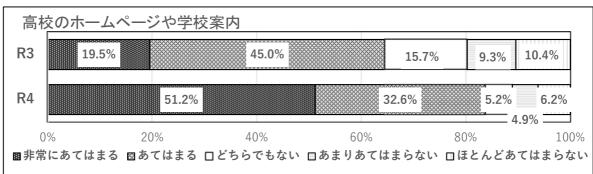


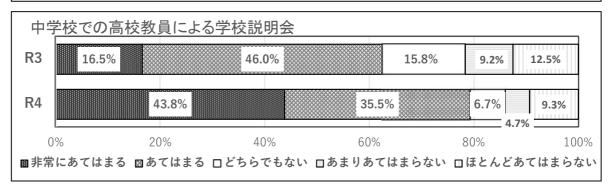


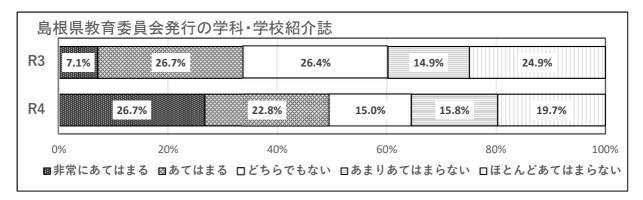
- ・ 「自宅から近いから」について、「非常にあてはまる」又は「あてはまる」と回答した生徒の割合は、R3の57.7%に対しR4は58.3%であった。
- ・ 「学びたい授業内容があるから」について、「非常にあてはまる」又は「あてはまる」と回答した生徒の割合は、R3の41.0%からR4は50.1%と約9ポイント増加した。
- ・ 「学校の特色や独自の取組に魅力を感じたから」について、「非常にあてはまる」又 は「あてはまる」と回答した生徒の割合は、R3 の 48.7%から R4 は 63.3%と約 15 ポイン ト増加した。

(2) 高校について情報を得る上で、参考にしたもの



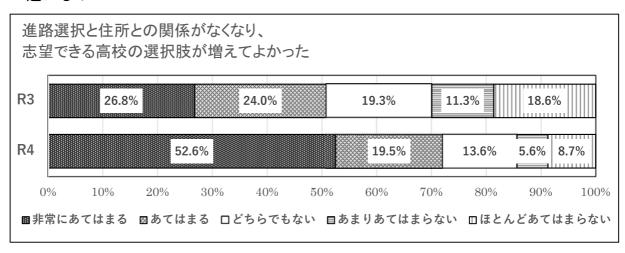


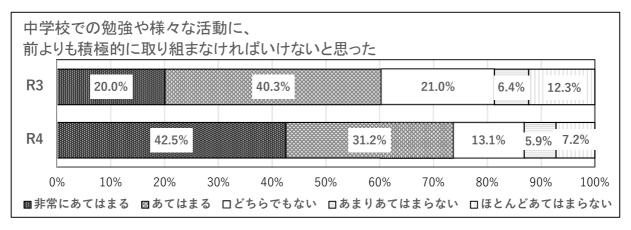


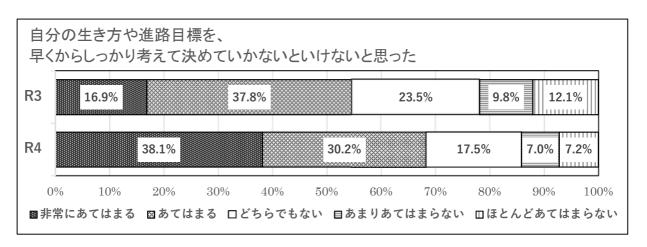


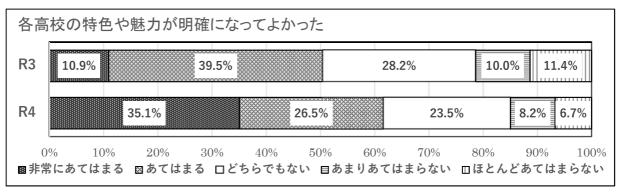
・ 高校についての情報を得る上で、参考としたものは、「高校のオープンスクール」、「高校のホームページや学校案内」、「中学校での高校教員による学校説明会」及び「島根県教育委員会発行の学科・学校紹介誌」について、「非常にあてはまる」又は「あてはまる」と回答した生徒の割合は、それぞれ86.1%、83.8%、79.3%及び49.5%であった。

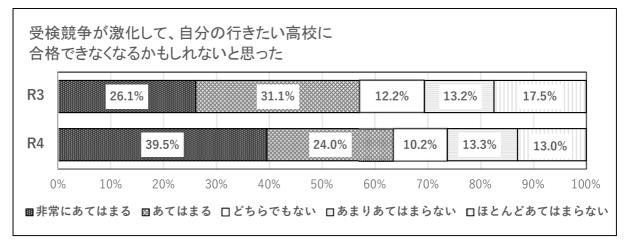
(3) 普通科3校の特色・魅力の明確化と通学区撤廃について、自分の考えにもっとも近いもの











<受検機会の拡大について>

・「進路選択と住所との関係がなくなり、志望できる高校の選択肢が増えてよかった」について、「非常にあてはまる」又は「あてはまる」と回答した生徒の割合は、R3の50.8%からR4は72.1%と約21ポイント増加した。

<主体的な進路選択について>

- ・「中学校での勉強や様々な活動に、前よりも積極的に取り組まなければいけないと思った」について、「非常にあてはまる」又は「あてはまる」と回答した生徒の割合は、R3 の 60.3%から R4 は 73.7%と約 13 ポイント増加した。
- ・「自分の生き方や進路目標を、早くからしっかり考えて決めていかないといけないと思った」について、「非常にあてはまる」又は「あてはまる」と回答した生徒の割合は、R3 の 54.7%から R4 は 68.3%と約 14 ポイント増加した。

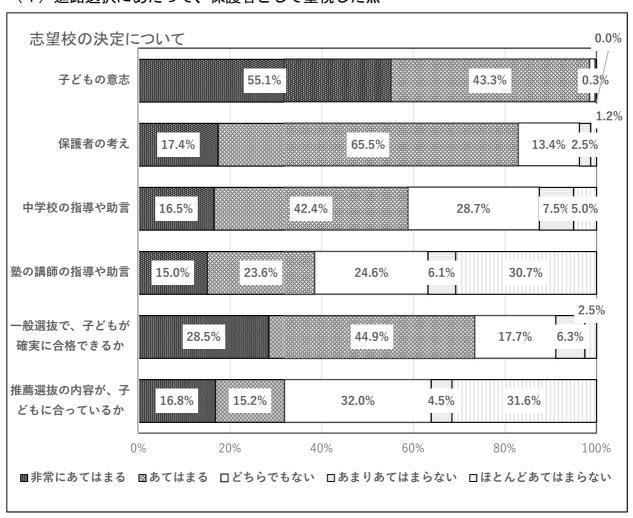
<特色化・魅力化について>

・「各高校の特色や魅力が明確になってよかった」について、「非常にあてはまる」又は 「あてはまる」と回答した生徒の割合は、R3 の 50.4%から R4 は 61.6%と約 11 ポイント 増加した。

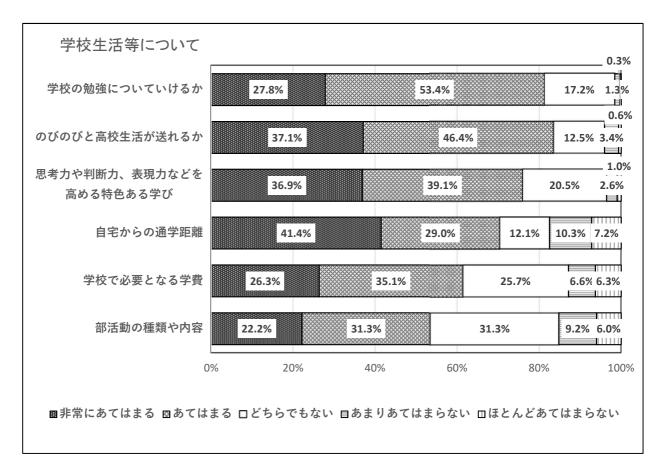
<受検への不安感について>

- ・「受検競争が激化して、自分が行きたい高校に合格できなくなるかもしれないと思った」について、「非常にあてはまる」又は「あてはまる」と回答した生徒の割合は、R3の 57.2%に対し R4 は 63.5% と約 6 ポイント増加した。
- 4 保護者による主な回答結果(県立普通科3校)※県立普通科3校の回収率:44.5%
 - 注) 1 以下のグラフにおける数値(%)は、内訳ごとに端数を四捨五入しているため、必ずしも合計が 100%とはならない。
 - 2 各質問の未回答者は母数に含んでいない(したがって、質問ごとに母数が異なる)。

(1) 進路選択にあたって、保護者として重視した点

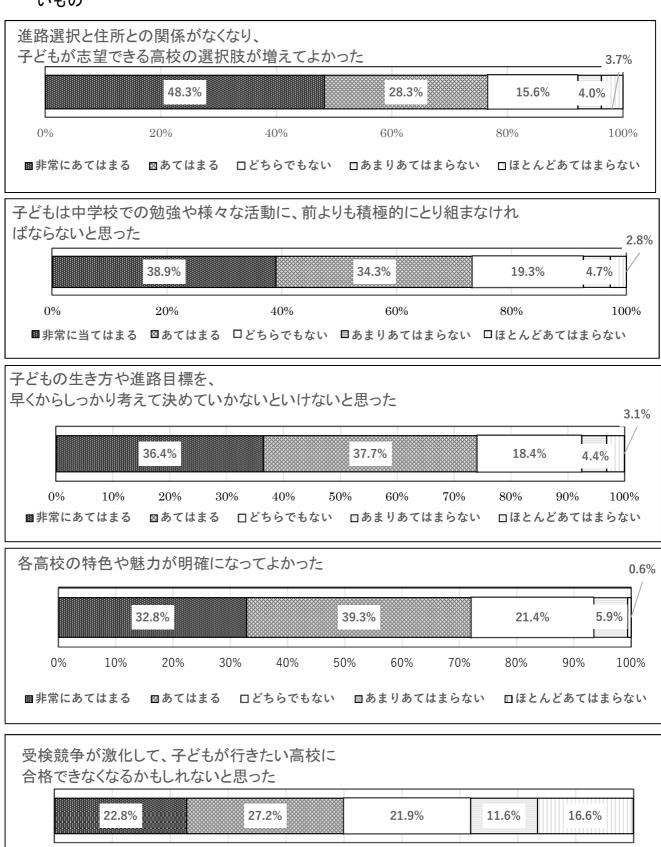


- ・ 志望校の決定で重視した点として、「子どもの意志」、「保護者の考え」、「中学校の指導や助言」及び「塾の講師の指導や助言」について、「非常にあてはまる」又は「あてはまる」と回答した保護者の割合は、それぞれ98.4%、82.9%、58.9%及び38.6%であった。
- ・ 「一般選抜で、子どもが確実に合格できるか」及び「推薦選抜の内容が、子どもに合っているか」について、「非常にあてはまる」又は「あてはまる」と回答した保護者の割合は、それぞれ73.4%と32.0%であった。



・ 学校での学びや学校生活等について、7割を超える保護者が「学校の勉強についていけるか」、「のびのびと高校生活が送れるか」、「思考力や判断力、表現力などを高める特色ある学び」及び「自宅からの通学距離」について、「非常にあてはまる」又は「あてはまる」と回答した。

(2) 普通科3校の特色・魅力の明確化と通学区撤廃について、保護者の考えにもっとも近いもの



50%

60%

図あてはまる □どちらでもない □あまりあてはまらない □ほとんどあてはまらない

70%

80%

90%

100%

40%

30%

0%

10%

■非常にあてはまる

20%

<受検機会の拡大について>

・ 「進路選択と住所との関係がなくなり、志望できる高校の選択肢が増えてよかった」 について、「非常にあてはまる」又は「あてはまる」と回答した保護者の割合は、76.6 %(生徒72.1%)であった。

<主体的な進路選択について>

・ 「子どもは中学校での勉強や様々な活動に、前よりも積極的に取り組まなければいけないと思った」及び「生き方や進路目標を、早くからしっかり考えて決めていかないといけないと思った」について、「非常にあてはまる」又は「あてはまる」と回答した保護者の割合は、それぞれ73.2%(生徒73.7%)と74.1%(生徒68.3%)であった。

<特色化・魅力化について>

・ 「各高校の特色や魅力が明確になってよかった」について、「非常にあてはまる」又は「あてはまる」と回答した保護者の割合は、72.1%(生徒61.6%)であった。

<受検への不安感について>

・ 「受検競争が激化して、子どもが行きたい高校に合格できなくなるかもしれないと思った」について、「非常にあてはまる」又は「あてはまる」と回答した保護者の割合は、50.0%(生徒63.5%)であった。

(生徒用)

令和4年度松江市内全日制公立高校入学生の進路選択に係る意識調査

島根県教育委員会

			<調査への	りご協力	のお願い>			
\bigcirc	本調査は、さら	うに魅力	的な高校づ	くりを	目指していく	ために、	今年度入学	生の皆
	さんの進路選抜	尺の実態	を把握する	ことを目	目的として実施	をするも	のです。	
\bigcirc	皆さんからの回	回答内容	は、個人情	報保護の	の重要性に鑑	み、今後	後の教育施策	及び各
	学校の学校経営	営の参考	資料にのみ	用いられ	1るもので、·	それ以タ	の目的に使用	用する
	ことはありませ	せん。						
\bigcirc	調査は無記名式	弋で行い	ますので、	回答に。	よって個人が	特定され	しることは絶対	対にあ
	りません。また	、回答	したくない	(回答で	きない) 質問	について	ては、回答し	なくて
	も構いません。	- • • • • •			2 0 7 7 7 7			•
\bigcirc	調査の趣旨をご	で理解い	ただき、ご	協力をお	3願いいたしき	ます。		
* 回答	≸は、□にチェ	ック(レ	/)を入れて	くださ	い。			
Q 1	出身中学校等	を選んで	ごください。					
	1 松江一中		2 松江二中	□ 3	松江三中	[□ 4 松江四□	Ħ
	5 湖南中		5 湖東中	□ 7	本庄中	[□ 8 湖北中	
	9 鹿島中	□10) 島根中	□11	美保関中		□12 八雲中	
□1:	3 義務教育学校	玉湯学園		□14	宍道中			
□15	5 宍道中大野原	分校		□16	東出雲中			
□1′	7 義務教育学校	八東学園		□18	島根大学教育	育学部附足	属義務教育学校	交
				$\square 21$			□22 市外私立	
$\square 2$:		$\square 2$						_ '
			11/31/2012					
Q 2	現在通ってい	る高校・	学科を選ん	でくだ	さい。			
• 7	松江北高校	\Box 1	普通科	\square 2	理数科			
• 7	松江南高校	□ 3	普通科	\Box 4	探究科学科			
	松江東高校	□ 5	普通科					
	松江工業高校	□ 6	機械科	□ 7	電子機械科	□ 8	電気科	
		□ 9	電子科	□ 10	情報技術科	□ 11	建築都市工学	 之科
• 7	松江商業高校	□ 12	全科	□ 10			人人的 的工,	11
	松江農林高校	□ 12 □ 13	生物生産科	□ 14	環境土木科	□ 15	総合学科	
	市立皆美が丘女子高校	□ 13	普通科	□ 1 4	塚児工小村 国際コミュニ			
	F日大W	□ 10	日四们	L 11	国かっくユー	/ / 3	✓ 1/TI	

Q 3	3 あなたが現在通っている高校を選択したのは、 理由 1 ~17 が、それぞれどれくらいあてはまる;		-			すか。じ	人下の
	5 (非常にあてはまる) 4 (あてはまる) 2 (あまりあてはまらない) 1 (ほとんどあては	まらない		3 (ど	ちらで	もない)	
1 2 3 4	合格できそうだったから [早く合格内定が得られそうだったから [□ 4□ 4	- ₋	3 — 3 —	□ 2 − □ 2 −	□ 1 □ 1
5 6 7 8 9	学びたい授業内容があるから [学校行事等に魅力があったから [校訓や教育目標に共感したから [5 - 5 - 5 - 5 - 5 -	□ 4□ 4□ 4□ 4□ 4	-	3 - 3 - 3 - 3 - 3 -	□ 2 − □ 2 − □ 2 − □ 2 − □ 2 − □ 2 −	□ 1□ 1□ 1□ 1□ 1
11 12 13 14 15 16	学校の特色や独自の取組に魅力を感じたから 保護者や家族の助言があったから 中学校の先生の助言があったから 塾の先生の助言があったから 友人と同じ学校に行きたかったから 学校が楽しそうだったから 施設・設備が充実していたから	5 - 5 - 5 - 5 - 5 -	□ 4□ 4□ 4□ 4□ 4	-	3 - 3 - 3 - 3 - 3 -	$ \begin{array}{cccc} \square & 2 & - \\ \end{array} $	□ 1□ 1□ 1□ 1□ 1
	その他(自由記述)						
Q 5	志望校を最終的に決定したのはいつ頃ですか。	カ8~10	月頃			選んで ² 校2年	

Q6-1 現在通っている高校について、以下からあてはまるものを1つ選んでください。

□ 1 現在通っている高校は、最初から自分の第1志望だった。⇒【回答後、Q7へ】

 \square 2 現在通っている高校は、最初は自分の第1志望ではなかった。 \Rightarrow 【回答後、Q6-2~】

でください(複	数回答	可)。※ <u>Q6-1</u>	で 2	を選んだ人の	み回答して	てください <u>。</u>
□ 1 以前志望していた	た高校に	は合格できない	と思った	こから		
□ 2 現在通っている高	事校には	、途中から合格	できると	と思うようにな	ったから	
□ 3 以前志望していた	た高校よ	りも、現在通っ	ている話	葛校の魅力や特	色にひか	れたから
□ 4 高校卒業後の進路	各目標が	変わったから				
□ 5 学校説明会やオー	ープンス	クールで、志望	が変わっ	ったから		
□ 6 保護者等に変更の	の助言を	受けたから				
□ 7 学校の先生に変列	更の助言	を受けたから				
□ 8 塾の先生に変更の	の助言を	受けたから				
□ 9 現在通っている福	高校の友	人や先輩に誘わ	れたから	O		
□10 現在通っている副	高校から	勧誘を受けたか	5			
⇒【回答後、Q7へ】						
Q7 現在通っている語	高校・学	科以外で、進	学先とし	して検討した労	学校・学	科を <u>すべて</u> 選んでく
ださい(複数回答詞	可)。実際	※にその学校を	を受検し	たかどうかは	問いまも	<u></u> せん。
•松江北高校	\Box 1	普通科	\square 2	理数科		
• 松 江 南 高 校	□ 3	普通科	\Box 4	探究科学科		
• 松 江 東 高 校	□ 5	普通科				
・松江工業高校	\Box 6	機械科	\Box 7	電子機械科	□ 8	電気科
	□ 9	電子科	□ 10	情報技術科	□ 11	建築都市工学科
• 松江工業高校定時制	\Box 12					
• 松江商業高校	□ 13	全科				
• 松江農林高校	□ 14	生物生産科	□ 15	環境土木科	□ 16	総合学科
• 宍道高校定時制	\Box 17					
• 宍道高校通信制	□ 18					
市立皆美が丘女子高校		普通科				ョン科
• 松江市内私立高校	□ 21 _	,	\square 2			
to Section 1		松徳学院高校				
• 松江高専	□ 25 -	機械工学科	□ 2			
	□ 27 □	電子制御工学和		8 情報工学科		
to S. J. H. Hall.	□ 29 □	環境・建設工学		10.5 - 1.41	~. ! - - -	
・松江市外の高校	☐ 30 ☐ 22	松江市外県立高	• •	31 松江市外		
・県外の高校等	\square 32	県外公立高校		33 県外私立	局 校	□ 34 県外高専
・特別支援学校	☐ 35					
その他(海外等)	☐ 36					
・なし	□ 37					

Q6-2 志望校が途中で変わった理由は何ですか。以下から、<u>あてはまるものをすべて</u>選ん

Q E	3 高校についての情報を得る上で、何を参考に それぞれどの程度参考にしたか、選んでくださ	- 1
	5 (非常にあてはまる)4 (あてはまる)2 (あまりあてはまらない)1 (ほとんどあて	3 (どちらでもない) [はまらない]
2 3 4 5 6 7	2 高校のオープンスクール 3 島根県教育委員会発行の学科・学校紹介誌 □ 9 中学校での高校による学校説明会 □ 9 市学校での進路指導 □ 9 まででの進路指導 □ 9 まででの単路が表示。 C N S 等インターネット上の情報 □ 9 までは、 C R 世界での情報 □ 9 まの情報 □ 9 まの情報 □ 9 までは、 C R 世界での情報 □ 9 まの情報 □ 9 までは、 C R 世界での情報 □ 9 までは、 C R 世界である。 □ 9 までは、 C R T R T R T R T R T R T R T R T R T R	$ \begin{bmatrix} $
Q 9	9 松江北・松江南・松江東高校については、行に、令和3年度島根県公立高等学校入学者選抜した。 このことについて、あなたはどう思いますかえにもっとも近いものを選んでください。	友から、普通科の通学区が撤廃されま
	5 (非常にあてはまる) 4 (あてはまる) 2 (あまりあてはまらない) 1 (ほとんどあて	3 (どちらでもない)
1	進路選択と住所との関係がなくなり、志望 できる高校の選択肢が増えてよかった	
2		
3	各高校の特色や魅力が明確になってよかった	
4		\square 5 $ \square$ 4 $ \square$ 3 $ \square$ 2 $ \square$ 1
5	どの高校にも様々な中学校から生徒が入学して、交友関係が広がると思った	
6		\square 5 $ \square$ 4 $ \square$ 3 $ \square$ 2 $ \square$ 1
7		
8		
9		
10		

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

(保護者用)

令和4年度松江市内全日制公立高校入学生の進路選択に係る意識調査

会

						Ę	島根県教育委員
			<調査へのご	ご協力の	のお願い>		
\circ	本調査は、さらに見	魅力的	な高校づく	りを目	指していくため	に、保護者	皆の方々に、今
	年度新入学された	お子様	もの 進路選択	に関す	るお考えを調査	査させてい	へただくために
	実施するものです	0					
\circ	皆様からの回答内	容は、	個人情報保	:護の重	工要性に鑑み、	今後の教育	が施策及び各学
	校の学校経営の参	考資料	中にのみ用い	られる	もので、それ」	以外の目的	元使用するこ
	とはありません。						
\circ	調査は無記名式で						
	りません。また、[回答し	たくない (回	回答で	きない)質問に	ついては、	回答しなくて
	も結構です。						
\circ	調査の趣旨をご理	解いた	だき、ご協	力をお	願いいたします	r.	
※ 以 ⁻	下の質問中の「お子	 様」に、	ついては、今	年度新	入学した生徒に	こついてお	答えください
ж (П.	答は、□にチェック	. (.d)	まるわ テノ	+2+1	`		
↑ 凹 î	引は、口にアエック		を入れてく	150	` o		
Q 1	お子様の出身中学	校等	を選んでくた	きさい。			
	1 松江一中	\square 2	松江二中	□ 3	松江三中	\Box 4	松江四中
	5 湖南中	□ 6	湖東中	□ 7	本庄中	□ 8	湖北中
	9 鹿島中	$\Box 10$	島根中	$\Box 11$	美保関中	$\Box 12$	八雲中
$\Box 1$	3 義務教育学校玉湯	景学園		$\Box 14$	宍道中		
$\Box 1$	5 宍道中大野原分核	ζ		□16	東出雲中		
$\Box 1$	7 義務教育学校八束	亨学園		$\square 18$	島根大学教育学	的附属義務	务教育学校

Q 2

□23 県外中学等 □24 特別支援学校中学部

の一体が現代	囲つ (し	いる同校・子	一件で迭	んでください。		
•松江北高校	\Box 1	普通科	\square 2	理数科		
•松江南高校	□ 3	普通科	\Box 4	探究科学科		
•松江東高校	□ 5	普通科				
• 松江工業高校	□ 6	機械科	□ 7	電子機械科	□ 8	電気科
	□ 9	電子科	□ 10	情報技術科	□ 11	建築都市工学科
• 松江商業高校	□ 12	全科				
• 松江農林高校	□ 13	生物生産科	□ 14	環境土木科	□ 15	総合学科
• 市立皆美が丘女子高校	□ 16	普通科	□ 17	国際コミュニク	ァーショ	ン科

□19 松徳学院中 □20 開星中 □21 市外公立中 □22 市外私立中

_	1~24 について、それぞれどの程度あてはま	るカ	·\ :	選ん ——	で	< <i>t</i> :	<u>きさ</u>	(\ <u>`</u>			_
	5 (非常にあてはまる) 4 (あてはまる)					3	ع)	きら	でも	ない)
	2 (あまりあてはまらない) 1 (ほとんどあて	にはる	まら	ない)						
_											_
志望	校の決定について										
1	子どもの意志		5 -	_ [] 4	_		3 —		2 —	
2	保護者の考え		5 -	_ [] 4	_		3 —		2 —	
3	中学校の指導や助言		5 -] 4	_		3 —		2 —	
4	塾の講師の指導や助言		5 -		4	_		3 —		2 —	
5	一般選抜で、子どもが確実に合格できるか		5 -	_ [] 4	_		3 —		2 —	
6	推薦選抜の内容が、子どもに合っているか		5 -	_ [] 4	_		3 —		2 —	
学校	での学びについて										
7	幅広い教養を身に付ける普通教科の学び		5 -	_ [] 4	_		3 —		2 —	
8	職業等に直結する専門教科(工、商、農など)		5 -	_ [] 4	_		3 —		2 —	
	の学び										
9	思考力や判断力、表現力などを高める特色ある		5 -	_ [] 4	_		3 —		2 —	
	学び										
高校	卒業後の進路等について										
10	大学等の進学指導		5 -	- 🗆	4	_		3 —	\square 2	2 —	
11	就職指導		5 -	- 🗆	4	_		3 —	\square 2	: —	
12	卒業後の進学実績		5 -	- 🗆	4	_		3 —	\square 2	2 —	
13	卒業後の就職実績		5 -	- 🗆	4	_		3 —	\square 2	2 —	
14	卒業後の社会での活躍		5 -	- 🗆	4	_		3 —	\square 2	2 —	
学校	生活について										
15	学校の勉強についていけるか		5 -	- 🗆	4	_		3 —	\square 2	· —	
16	のびのびと高校生活が送れるか		5 -	- 🗆	4	_		3 —	\square 2	2 —	
17	学校の施設設備		5 -	- 🗆	4	_		3 —	\square 2	· —	
18	学校の校風		5 -	- 🗆	4	_		3 —	\square 2	2 —	
その	他										
19	自宅からの通学距離		5 -	- 🗆	4	_		3 —	\square 2	: —	
20	通学にかかる費用		5 -	- 🗆	4	_		3 —	\square 2	: —	
21	学校で必要となる学費		5 -	- 🗆	4	_		3 —	\square 2	· —	
22	取得できる免許や資格		5 -	- 🗆	4	_		3 —	\square 2	· —	
23	部活動の種類や内容		5 -	- 🗆	4	_		3 —	\square 2	· —	
24	保護者と同じ学校に入学すること		5 -	- 🗆	4	_		3 —	\square 2	: —	
25	その他(自由記述)										
20											

Q3 お子様の進路選択にあたり、保護者としてどのような点を重視しましたか。以下の

•	高校についての情報を得る上で、どのようァ ∼10 について、それぞれどの程度参考にし;	
	(非常にあてはまる)(あまりあてはまらない)1 (ほとんどあて	3 (どちらでもない) はまらない)
1 2 3 4 5 6 7 8	高校のホームページや学校案内 高校のオープンスクール 島根県教育委員会発行の学科・学校紹介誌 中学校での高校による学校説明会 高校の学校紹介DVD 中学校での進路指導 SNS等インターネット上の情報 保護者や兄弟姉妹、先輩等の情報 塾の情報 その他教育関連会社の情報	$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
すか	公江市内県立高校の普通科通学区撤廃についる。以下の1~9 について、それぞれどの程 (非常にあてはまる) 4 (あてはまる)	度あてはまるか、選んでください。 3 (どちらでもない)
2	(あまりあてはまらない) 1 (ほとんどあて	はまりない
1	進路選択と住所との関係が無くなり、子ども が志望できる高校の選択肢が増えて良かった	
2	受検競争が激化して、子どもが志望する高校 に合格できなくなるのではないかと思った	
3	各高校の特色や魅力が明確になって良かった	
4	子どもは中学校での勉強や様々な活動に、より積極的に取り組む必要があると感じた	
5	どの高校にも様々な中学校から生徒が入学して、交友関係が広がると思った	
6	志望できる高校の選択肢が増えて、かえって 志望校を決定することが難しくなると感じた	
7	子どもの長所や興味を活かして志望校に合格 できるようになると思った	
8	子どもの生き方や進路目標について、早くからしっかり考えて決めていく必要があると思った	
9	志望校を決める際に、子どもの将来や目標に 合う学校を前より選べるようになった	
10	その他(自由記述)	

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

松江市内県立高校の令和4年度入学者選抜(一般選抜)の状況

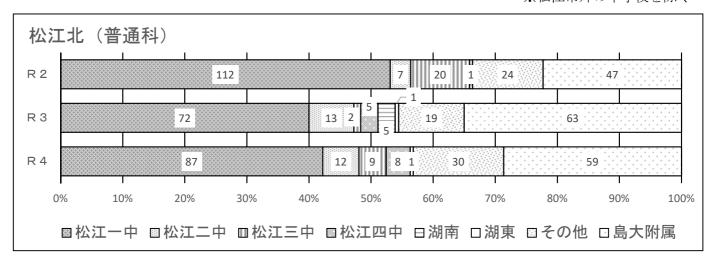
		а	b	С	d=c/b	参考
		入学定員	一般選抜 募集定員	一般選抜 出願者数	対一般選抜 募集定員 競争率	令和3年度入学者 選抜の対一般選抜 募集定員競争率
	普通	240	235	230	0.98	0.83
松江北	理数	40	40	48	1.20	1.38
	計	280	275	278	1.01	0.91
	普通	200	200	236	1.18	1.05
松江南	探究科学	80	60	48	0.80	1.06
	計	280	260	284	1.09	1.05
松江東	普通	200	179	198	1.11	0.95
	機械	40	31	30	0.97	1.10
	電子機械	40	30	27	0.90	0.57
	電気	40	36	13	0.36	0.71
松江工業	電子	40	38	12	0.32	0.64
	情報技術	40	31	39	1.26	1.42
	建築都市工学	40	26	32	1.23	0.96
	計	240	192	153	0.80	0.88
	商業					
松江商業	国際ビジネス	200	113	124	1.10	1.24
	情報処理					
	生物生産	40	28	28	1.00	0.97
松江農林	環境土木	40	29	18	0.62	0.96
山山山辰州	総合	80	44	60	1.36	0.85
	計	160	101	106	1.05	0.91

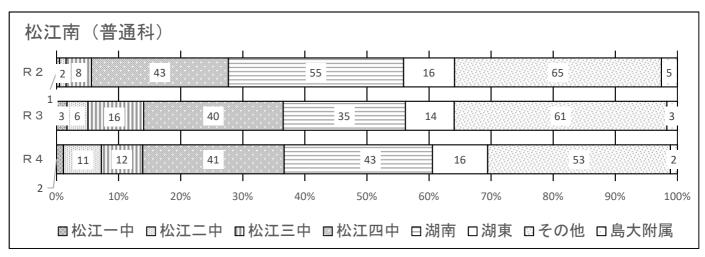
[※]一般選抜募集定員=(入学定員-推薦選抜等合格內定者数)

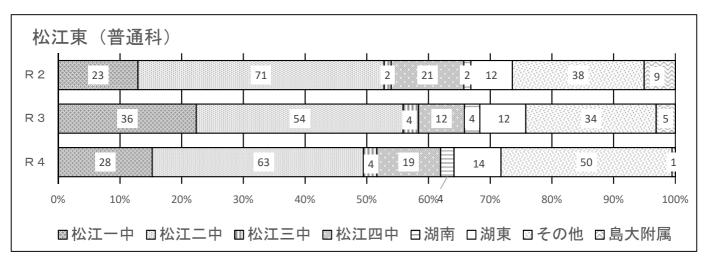
松江市内県立普通科高校の入学者の状況

一普通科における出身中学校の内訳(松江市内の市立・国立・私立中学校のみ)ー

※松江市外の中学校を除く







【旧通学区】

高校	中学校						
松江北	松江一中、松江三中、湖北中、鹿島中						
松江南	松江四中※、湖南中、湖東中※、八雲中、 玉湯学園(玉湯中)、宍道中、東出雲中						
松江東	松江二中、松江四中※、湖東中※、 本庄中、島根中、美保関中、八束学園						

※旧通学区が分かれる中学校

中学校	小学校区	旧通学区
松江四中	古志原	松江南
松江四中	津田	松江東
湖東中	大庭	松江南
州米丁	竹矢	松江東

文教厚生委員会資料 令和4年10月28日 教育指導課

令和3年度生徒指導上の諸課題に関する状況について

【 】内は対前年比

I 島根県の調査結果の概要

1. 暴力行為の発生件数(公立小学校・中学校・高等学校)

別添 資料 1 参照

(1) 公立小学校・中学校・高等学校の合計は 667 件【+89 件】、1,000 人当たりの発生件数は 10.2 件【+1.5 件】。

発生件数、1,000人当たりの発生件数いずれも4年ぶりの増加となっている。

国公私立の 1,000 人当たりの発生件数 (9.6 件) は、全国平均の 6.0 件を上回っている。

- (2) 校種別では、小学校では 406 件【+59 件】、中学校では 240 件【+23 件】、高等学校では 21 件【+7件】。
- (3) 暴力を伴う児童生徒同士のけんかを積極的に暴力行為として認知したこと等が増加の要因として考えられる。

2. いじめの状況等(公立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校) 別添 資料2参照

(1) 公立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の認知件数の合計は 2,650 件【+368件】、1,000 人当たりの認知件数は 39.7 件【+5.8 件】。

認知件数、1,000人当たりの認知件数いずれも3年ぶりの増加。

国公私立の1,000人当たりの認知件数(37.3件)は、全国平均の47.7件を下回っている。

- (2) 校種別では、小学校では 1,704 件【+252 件】、中学校では 755 件【+152 件】、高等学校では 154 件【▲10 件】、特別支援学校では 37 件【▲26 件】。
- (3) 教職員に対する研修等でいじめの積極的な認知をするよう働きかけたことで生徒間 の暴力をいじめとして認知することが増えたこと等が増加の要因と考えられる。

3. 小学校・中学校の長期欠席のうち不登校の状況(公立) 別添 資料3参照

(1) 公立小学校・中学校の不登校児童生徒数の合計は1,528 人【+271 人】、1,000 人当たりの人数は30.0 人【+5.4 人】。

不登校児童生徒数、1,000人当たりの人数ともに6年連続の増加。

国公私立の 1,000 人当たりの人数 (29.9 人) は、全国平均の 25.7 人を上回っている。

(2) 校種別では、小学校では 595 人【+97 人】、中学校では 933 人【+174 人】。

- (3) コロナ禍において休校や学年閉鎖などで生活リズムが崩れたり、学校を休むことへの抵抗感が低下していること等が増加の要因と考えられる。
- (4) 島根県は長期欠席者のうち不登校を理由とする者の数が全国より高い状況が続いているが、頭痛や腹痛で欠席する場合でも背景に不登校が疑われる場合には不登校として分類することがあることも影響していると考えている。

4. 高等学校の長期欠席のうち不登校の状況(公立)

別添 資料4参照

(1) 公立高等学校の不登校生徒数は 300 人【+80 人】、1,000 人当たりの生徒数は 22.5 人【+6.5 人】。

生徒数、1,000 人当たりの生徒数、いずれも2年連続の増加。 国公私立の1,000 人当たりの生徒数(22.9人)は、全国平均の16.9人を上回っている。

(2) 比較的規模の大きい学校において人数が多い傾向があった。

5. 高等学校中途退学者等の状況(公立)

別添 資料5参照

(1) 公立高等学校の中途退学者数は 87 人【▲27 人】。在籍者数に対する割合は 0.6%【▲ 0.1 ポイント】。

中途退学者数、割合ともに5年連続の減少。

国公私立の在籍者数に対する割合(0.8%)は、全国平均の1.2%を下回っている。

- (2) 課程別では、全日制 45 人【±0人】、定時制 11 人【▲1人】、通信制 31 人【▲26 人】。
- (3) 中学校でのキャリア教育や高校のオープンキャンパスなどによる情報提供により、 ミスマッチが少なくなり進路変更などの退学が減少していると考えられる。

Ⅱ 島根県の対応(公立学校)

島根県では生徒指導上の諸課題に対して、「未然防止」「早期発見・早期支援」の取組等を進め、改善を図っている。

1. 未然防止

全ての児童生徒にとって自らの居場所があり、他者との絆を実感できるような魅力ある学校づくりを進めることが、いじめや不登校が生じにくい環境につながることから、教職員の指導力を高める研修等を実施している。

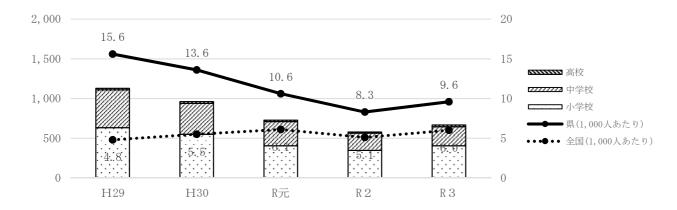
2. 早期発見・早期支援

いじめや不登校等の兆候をできるだけ早期に発見し組織的な支援を行うために、中心となる教育相談コーディネーターを養成するための研修のほか、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを各学校に配置・派遣する等の取組を行っている。

資料 1 暴力行為の発生件数 (公立小学校・中学校・高等学校)

	小 学 校 発生件数 (1,000人あたり)	中 学 校 発生件数 (1,000人あたり)	高等学校 発生件数 (1,000人あたり)	合 計 発生件数 (1,000人あたり)
H29	633 (18. 3)	476 (27.1)	19 (1.2)	1, 128 (16. 5)
H30	550 (15.9)	390 (23.0)	21 (1.3)	961 (14.2)
R元	406 (11.8)	304 (17.9)	18 (1.2)	728 (10.9)
R 2	347 (10. 2)	217 (12.8)	14 (0.9)	578 (8.7)
R 3	406 (12.0)	240 (14.0)	21 (1.4)	667 (10. 2)

県(国公私立) 発生件数 (1,000人あたり)	全国(国公私立) 発生件数 (1,000人あたり)
1, 146 (15. 6)	(4.8)
990 (13.6)	(5.5)
761 (10.6)	(6. 1)
591 (8.3)	(5. 1)
679 (9.6)	(6.0)

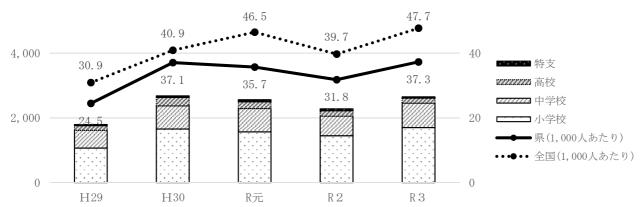


資料2 いじめの状況等(公立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校)

	小 学 校 認知件数 (1,000人あたり)	中 学 校 認知件数 (1,000人あたり)	高等学校 認知件数 (1,000人あたり)	特別支援学校 認知件数 (1,000人あたり)	合 計 認知件数 (1,000人あたり)
H29	1,067 (30.9)	550 (31.3)	144 (9.0)	36 (35.4)	1,797 (26.0)
			※ 144 (9.9)		※ 1, 797 (26. 5)
H30	1,656 (47.8)	720 (42.4)	255 (16.1)	48 (47.9)	2,679 (39.1)
			※ 254 (17.5)		※ 2, 678 (39. 9)
R元	1,567 (45.7)	724 (42.5)	208 (13.4)	62 (62.1)	2, 561 (37. 7)
			※ 206 (14.6)		※ 2, 559 (38. 5)
R 2	1, 452 (42.6)	603 (35.5)	164 (10.8)	63 (63.8)	2, 282 (33. 9)
			* 162 (11.7)		※ 2, 280 (34. 6)
R 3	1,704 (50.4)	755 (44.1)	154 (10.4)	37 (38.0)	2,650 (39.7)
			* 152 (11.4)	たた合きない粉に	※ 2, 648 (40. 6)

県(国公私立) 認知件数 (1,000人あたり)	全国(国公私立) 認知件数 (1,000人あたり)
1,831 (24.5)	(30. 9)
2,742 (37.1)	(40. 9)
2,607 (35.7)	(46. 5)
2, 305 (31.8)	(39. 7)
2,672 (37.3)	(47. 7)

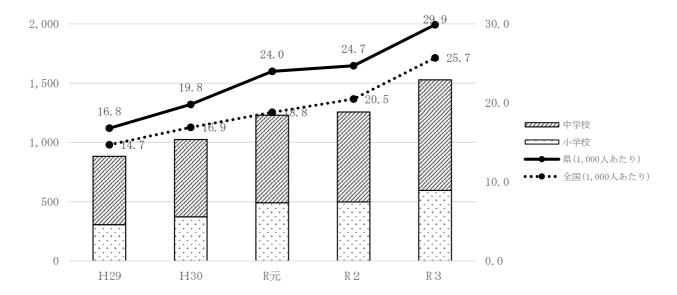
※は通信制高校を含まない数値



資料3 小学校・中学校の長期欠席のうち不登校の状況(公立)

	小 学 校 不登校児童数 (1,000人あたり)		中 学 不登校生 (1,000人a	上徒数	合 計 (1,000人あたり)		
H29	306	(8.9)	576	(32.8)	882	(16.9)	
H30	372	(10.7)	652	(38. 4)	1, 024	(19.8)	
R元	491	(14. 3)	739	(43. 4)	1, 230	(24. 0)	
R 2	498	(14. 6)	759	(44. 7)	1, 257	(24. 6)	
R 3	595	(17. 6)	933	(54. 5)	1, 528	(30.0)	

県(国公 不登校児童 ^{(1,000人を}	生徒数	全国(国公私立) 不登校児童生徒数 (1,000人あたり)
892	(16.8)	(14. 7)
1,043	(19.8)	(16. 9)
1, 257	(24.0)	(18.8)
1, 283	(24.7)	(20. 5)
1, 551	(29.9)	(25. 7)



理由別長期欠席者数 (小学校)

	在籍者数			理由別長期欠席	者数(割合%)		
1工精 日 奴		病気	経済的理由	不登校	新型コロナ	その他	計
R元	34, 290	44 (0.13%)	0 (0.00%)	491 (1.43%)	\setminus	38 (0.11%)	573 (1.67%)
R 2	34, 087	40 (0.12%)	0 (0.00%)	498 (1.46%)	5 (0.01%)	30 (0.09%)	573 (1.68%)
R 3	33, 806	31 (0.09%)	0 (0.00%)	595 (1.76%)	18 (0.05%)	84 (0. 25%)	728 (2.15%)

[※] R2~「長期欠席者」には、「欠席日数」と「出席停止・忌引き等の日数」の合計が30日以上の児童を計上

理由別長期欠席者数(中学校)

		在籍者数			理由別長期欠席	者数(割合%)		
1#		仁 稍有	病気	経済的理由	不登校	新型コロナ	その他	計
]	R元	17, 026	54 (0. 32%)	0 (0.00%)	739 (4.34%)		36 (0.21%)	829 (4.87%)
	R 2	16, 989	60 (0.35%)	0 (0.00%)	759 (4.47%)	10 (0.06%)	23 (0.14%)	852 (5.02%)
	R 3	17, 104	96 (0.56%)	0 (0.00%)	933 (5.45%)	17 (0.10%)	67 (0.39%)	1, 113 (6. 51%)

[※] R2~「長期欠席者」には、「欠席日数」と「出席停止・忌引き等の日数」の合計が30日以上の生徒を計上

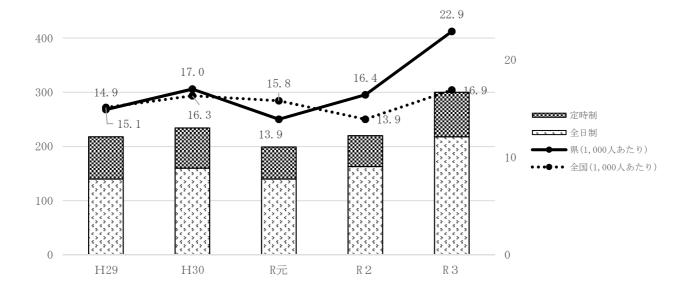
[※] R 2~「新型コロナウイルスの感染回避」が追加

[※] R 2~「新型コロナウイルスの感染回避」が追加

資料4 高等学校の長期欠席のうち不登校の状況(公立)

	全 日 制 不登校生徒数 (1,000人あたり)	定 時 制 不登校生徒数 (1,000人あたり)	合 計 (1,000人あたり)		
H29	140 (9.8)	78 (248. 4)	218 (14. 9)		
H30	160 (11.3)	74 (233. 4)	234 (16. 1)		
R元	140 (10.1)	59 (179. 3)	199 (14. 1)		
R 2	163 (12.1)	57 (164. 3)	220 (16.0)		
R 3	218 (16.7)	82 (250.0)	300 (22.5)		

県(国公 ⁵ 不登校児童 (1,000人を	生徒数	全国(国公私立) 不登校児童生徒数 (1,000人あたり)
280	(14. 9)	(15. 1)
316	(17. 0)	(16. 3)
251	(13.9)	(15.8)
290	(16. 4)	(13.9)
392	(22.9)	(16. 9)



理由別長期欠席者数 (全日制及び定時制高等学校)

	在籍者数			理由別長期欠席	者数(割合%)		
任精有 叙		病気	経済的理由	不登校	新型コロナ	その他	計
R元	14, 130	97 (0.69%)	1 (0.01%)	199 (1.41%)		12 (0.08%)	309 (2.19%)
R 2	13, 791	76 (0.55%)	1 (0.01%)	220 (1.60%)	9 (0.07%)	9 (0.07%)	315 (2. 28%)
R 3	13, 343	70 (0. 52%)	0 (0.00%)	300 (2.25%)	25 (0.19%)	15 (0.11%)	410 (3.07%)

^{**} R 2 \sim 「長期欠席者」には、「欠席日数」と「出席停止・忌引き等の日数」の合計が30日以上の児童を計上

^{**} R 2 \sim 「新型コロナウイルスの感染回避」が追加

資料 5 高等学校中途退学者等の状況(公立)

	公立全 中途退等 (割合	学者数	公立定時制 中途退学者数 (割合%)		中途退	公立通信制 中途退学者数 (割合%)		合計 (割合%)						県(国公 中途退学 (割合	学者数	全国(国公私立) 中途退学者数 (割合%)
H29	63	(0.4)	24	(7.6)	132	(9. 1)	*	219 87	(1. 4) (0. 6)	300	(1.5)	(1.3)				
H30	55	(0.4)	18	(5.7)	69	(5. 2)	*	142 73	(0.9) (0.5)	225	(1.1)	(1.4)				
R元	52	(0.4)	15	(4.6)	63	(4.5)	*	130 67	(0.8) (0.5)	202	(1.0)	(1.3)				
R 2	45	(0.3)	12	(3.5)	57	(4.0)	*	114 57	(0.7) (0.4)	159	(0.8)	(1.1)				
R 3	45	(0.3)	11	(3.4)	31	(2. 1)	*	87 56	(0.6) (0.4)	142	(0.8)	(1.2)				

※は通信制高校を含まない数値

